

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果

草津市教育委員会
令和8年9月2日

1. 調査概要

- 1 **調査の目的**
 - ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 2 **調査実施日** 令和8年4月23日（木）
- 3 **調査対象**

小学校調査 市内公立小学校6年生 1, 286人
中学校調査 市内公立中学校3年生 1, 171人
- 4 **調査内容**

①教科に関する調査（小学生：国語、算数 中学生：国語、数学、英語）

 - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

（例）学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、基本的生活習慣等、家庭学習の状況 など
- 5 **調査の方法**

◎小学校

1時間目	2時間目	※1
国語(45分)	算数(45分)	児童質問調査 (20分程度)

※1 4月24日(金)～5月8日(金)のうち1日(学校ごとに指定)

◎中学校

1時間目	2時間目	※2	
国語(50分)	数学(50分)	英語「読むこと」「書くこと」 (50分程度)	英語「聞くこと」・生徒質問調査 (50分程度)

1時間目	2時間目	※1
国語(45分)	算数(45分)	児童質問調査 (20分程度)

※1 4月24日(金)～5月8日(金)のうち1日(学校ごとに指定)

◎中学校

1時間目	2時間目	※2	
国語(50分)	数学(50分)	英語「読むこと」「書くこと」 (50分程度)	英語「聞くこと」・生徒質問調査 (50分程度)

※3
英語「話すこと」 (20分程度)

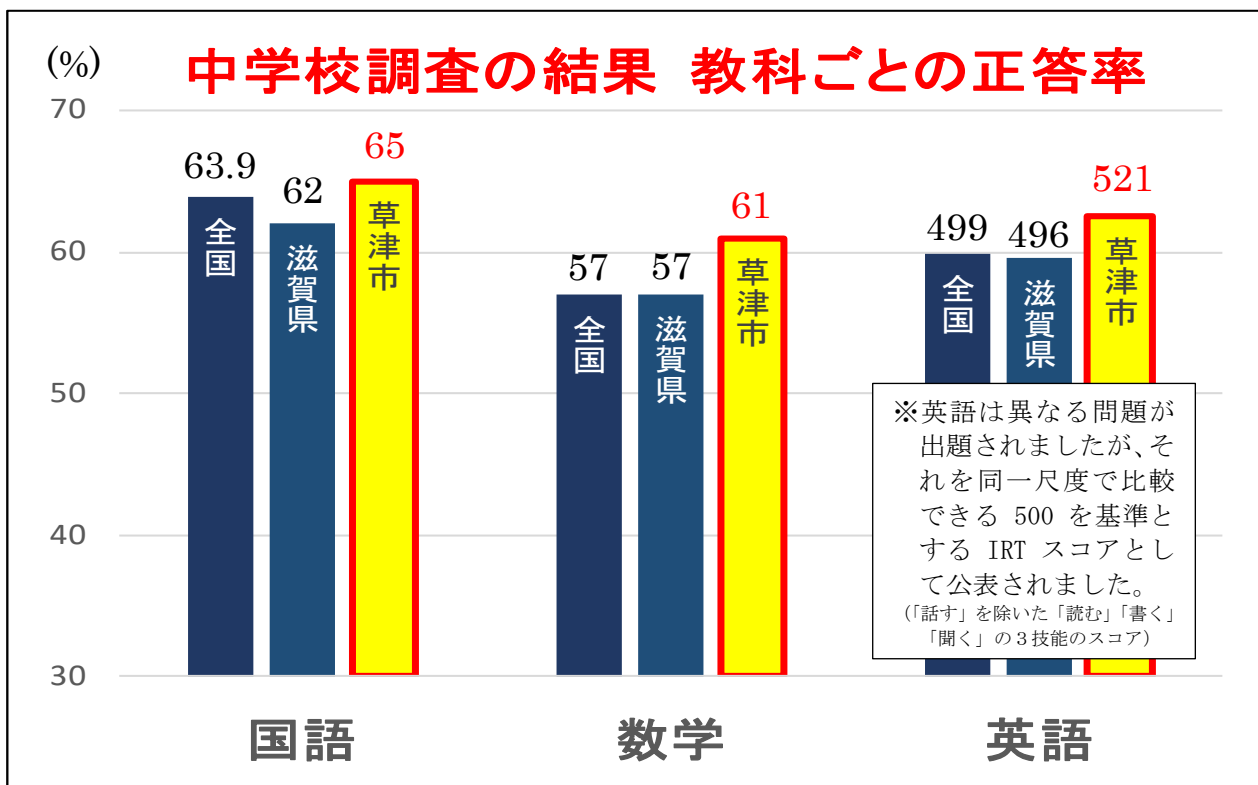
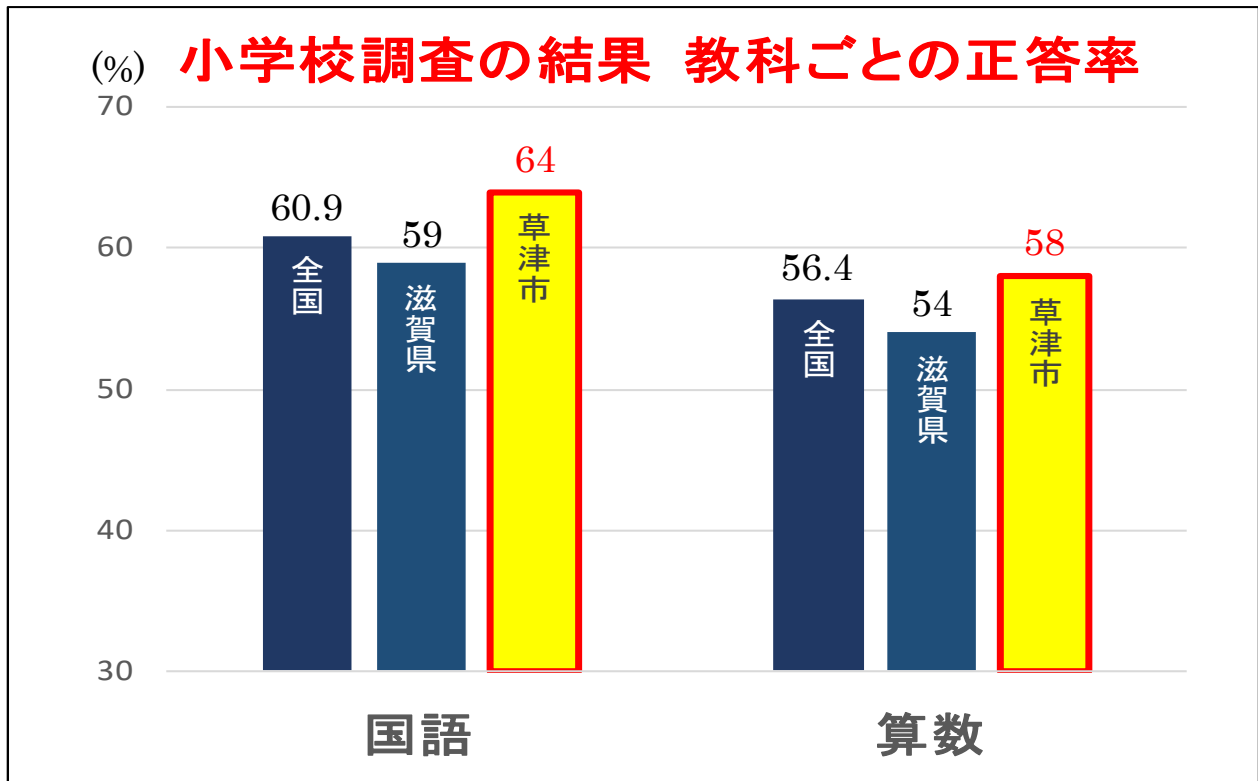
※2 4月20日(月)～4月23日(木)のうち1日(学校ごとに指定)

※3 4月24日(金)～5月29日(金)のうち1日(学校ごとに指定)

2. 教科に関する調査結果

教科に関する調査では、小中学校の正答率が、国語、算数・数学、英語いずれも全国平均と滋賀県平均を上回る結果となりました。

※平均正答率について、全国は小数点以下第 1 位の数値、県や市は整数値で公表されています。



3. 生活習慣や学習環境に関する調査結果

◆児童生徒に対する調査

《小学生》

小学生を対象にした「児童質問紙調査」73項目の結果を掲載します。

※数字は、質問に対して「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた児童の割合を表示しています。

なお、一部の質問項目については、文部科学省によるランダム方式で実施されています。ランダム方式とは、調査対象の児童生徒が全員同じ質問に回答するのではなく、児童生徒ごとに異なる質問項目に回答する調査方法です。このため、これらの質問項目については集計結果が公表されておらず、本市の結果欄には「—」を表示しています。（単位：％）

	質問項目	草津市	全国
1	朝食を毎日食べている。	92.9	93.3
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	83.6	82.8
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	90.2	90.7
4	普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などを行っている（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間を除く）。	55.8	57.6
5	家では主に日本語で話している。	96.3	96.6
6	学校の勉強のことについて、わたしの親や家族は、週に1～2回以上わたしと話している。	75.6	75.0
7	学校での悩みについて、わたしの親や家族は、週に1～2回以上わたしと話している。	37.4	35.5
8	自分には、よいところがあると思う。	82.2	85.6
9	先生は、わたしのよいところを認めてくれていると思う。	93.1	91.4
10	将来の夢や目標を持っている。	79.9	81.8
11	人が困っているときは、進んで助けている。	90.7	92.7
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	97.5	96.2
13	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	69.3	70.6
14	人の役に立つ人間になりたいと思う。	95.8	95.8
15	学校に行くのは楽しいと思う。	84.8	85.7
16	自分と違う意見について考えるのは楽しい。	77.7	77.9
17	友達関係に満足している。	91.5	91.1
18-1	課題は終わるまでやり通す。	—	—
18-2	課題が難しくなると、さらに努力する。	—	—
18-3	物事をじっくりと考えることが好きだ。	—	—
19-1	物事の仕組みを知ることは好きだ。	—	—
19-2	新しいことを学ぶのは好きだ。	—	—
19-3	問題の解決策を見つけることは好きだ。	—	—
20	わたしの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う。	72.8	69.6
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	93.2	92.5
22	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	77.5	79.4

	質問項目	草津市	全国
23	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、勉強している。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	24.5	21.6
24	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている。（遊びなどの目的に使う時間は除く）	14.6	13.4
25	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上、勉強している。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	19.2	17.1
26	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、読書をしている。（電子書籍の読書を含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	13.8	11.9
27	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）に週1～3回以上行く。	12.6	17.6
28	放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）に週1～3回程度以上行く。	4.3	4.5
29	家には、およそ101冊以上の本がある。	39.7	30.7
30	新聞を週に1～3回程度以上読んでいる。	11.8	10.0
31-1	読書は好きだ。	—	—
31-2	読書は役に立つ。	—	—
32-1	学習の計画の立て方や学び方が分かる。	—	—
32-2	自分が理解したか、何が分かっていないかを確認するために、学習したことを振り返っている。	—	—
32-3	学習に関係のない他の作業をしながら、勉強をすることがある。	—	—
32-4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。	—	—
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	80.8	80.1
34-1	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。	—	—
34-2	日本やわたしが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。	—	—
35	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用した。	90.8	87.9
36-1	自分はPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成できると思う。	81.8	79.1
36-2	自分はインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思う。	85.6	84.9
36-3	自分はPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思う。	71.3	69.5
36-4	自分はPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成できると思う。	75.3	74.6
37-1	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	—	—

	質問項目	草津市	全国
37-2	ICT 機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。	—	—
37-3	ICT 機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。	—	—
37-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる。	—	—
37-5	ICT 機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	—	—
37-6	ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	—	—
37-7	ICT 機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる。	—	—
37-8	ICT 機器を活用することで、次の学習に取り組む際に、自分の学習の状況や成果を振り返ることができる。	—	—
37-9	ICT 機器やインターネットの活用について、利用に当たってのルールやマナーに関して学校で教えてもらっている。	—	—
37-10	ICT 機器やインターネットについて、ルールやマナーを守って活用することができる。	—	—
37-11	家庭学習で PC・タブレットなどの ICT 機器を週 1 回以上活用している。	—	—
38	5 年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。	67.1	66.4
39	5 年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	75.8	77.6
40	5 年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	76.1	73.4
41	5 年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。	83.0	80.8
42	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。	86.5	85.7
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	78.9	78.4
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。	82.2	80.8
45	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	86.9	87.3
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	91.2	91.4
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	81.4	79.9
48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできている。	82.5	79.7
49	学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	82.9	81.5
50	学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	76.1	77.3
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	85.1	86.9
52	国語の勉強は得意だ。	61.7	60.4
53	国語の勉強は好きだ。	56.1	57.4

	質問項目	草津市	全国
54	国語の授業の内容はよく分かる。	82.8	81.5
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	90.8	90.4
56	国語の授業で、先生は、わたしの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる。	75.8	78.1
57	国語の授業で、先生は、わたしの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる。	72.4	75.1
58	国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。	80.0	80.7
59	国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	77.2	78.3
60	算数の勉強は得意だ。	61.4	60.1
61	算数の勉強は好きだ。	55.7	57.6
62	算数の授業の内容はよく分かる。	79.8	77.5
63	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	91.9	91.0
64	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている。	83.2	83.2
65	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。	81.5	81.7
66	算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。	62.9	63.0
67	図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思う。	88.7	88.3
68-1	理科の勉強は得意だ。	—	—
68-2	理科の勉強は好きだ。	—	—
68-3	理科の授業の内容はよく分かる。	—	—
68-4	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	—	—
68-5	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい。	—	—
68-6	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている。	—	—
68-7	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている。	—	—
68-8	理科の授業では、観察や実験をよく行っている。	—	—
68-9	理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるか、自分で予想（仮説）を考えている。	—	—
68-10	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。	—	—
69	英語の勉強は得意だ。	60.6	59.8
70	英語の勉強は好きだ。	67.3	66.7
71	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい。	45.5	45.4
72	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどの ICT 機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）。	51.5	46.2
73	家庭学習の課題（宿題）として、週 1 回以上、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしている。	32.2	29.7

※「—」は、ランダム方式で実施した質問項目であり、結果が公表されていないことを示します。

《中学生》

中学生を対象にした「生徒質問紙調査」 80 項目の結果を掲載します。

※数字は、質問に対して「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた生徒の割合を表示しています。

なお、一部の質問項目については、文部科学省によるランダム方式で実施されています。ランダム方式とは、調査対象の児童生徒が全員同じ質問に回答するのではなく、児童生徒ごとに異なる質問項目に回答する調査方法です。このため、これらの質問項目については集計結果が公表されておらず、本市の結果欄には「―」を表示しています。（単位：％）

	質問項目	草津市	全国
1	朝食を毎日食べている。	91.8	90.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	77.3	80.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	90.8	92.4
4	普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴をしている（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間を除く）。	77.5	74.9
5	家では主に日本語を話している。	98.6	97.5
6	学校の勉強のことについて、わたしの親と家族は、週に1～2回以上わたしと話している。	73.6	72.2
7	学校での悩みについて、わたしの親や家族は、週に1～2回以上わたしと話している。	38.2	36.4
8	自分には、よいところがあると思う。	80.1	84.0
9	先生は、わたしのよいところを認めてくれていると思う。	90.1	90.9
10	将来の夢や目標を持っている。	64.9	67.6
11	人が困っているときは、進んで助けている。	88.9	90.8
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	96.6	95.1
13	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	71.2	71.9
14	人の役に立つ人間になりたいと思う。	95.6	95.9
15	学校に行くのは楽しいと思う。	86.7	85.4
16	自分と違う意見について考えるのは楽しい。	79.3	78.6
17	友達関係に満足している。	90.8	91.2
18-1	課題は終わるまでやり通す。	—	—
18-2	課題が難しくなると、さらに努力する。	—	—
18-3	物事をじっくり考えることが好きだ。	—	—
19-1	物事の仕組みを知ることは好きだ。	—	—
19-2	新しいことを学ぶのは好きだ。	—	—
19-3	問題の解決策を見つけることは好きだ。	—	—
20	わたしの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う。	66.7	67.5
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	91.9	91.0
22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	76.0	78.2
23	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、勉強している。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	37.2	30.1

	質問項目	草津市	全国
24	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている。（遊びなどの目的に使う時間は除く）	8.1	12.0
25	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上、勉強している。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	29.7	29.9
26	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、読書をしている。（電子書籍の読書を含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	6.8	7.9
27	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）に週1～3回程度以上行く。	5.4	7.8
28	放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）に週1～3回程度以上行く。	1.0	1.7
29	家には、およそ101冊以上の本がある。	38.9	31.2
30	新聞を週に1～3回程度以上読んでいる。	5.4	6.2
31-1	読書は好きだ。	—	—
31-2	読書は役に立つ。	—	—
32-1	学習の計画の立て方や学び方が分かる。	—	—
32-2	自分が理解したか、何が分かっているかを確認するために、学習したことを振り返っている。	—	—
32-3	学習に関係のない他の作業をしながら、勉強をすることがある。	—	—
32-4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。	—	—
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	66.8	72.3
34-1	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。	—	—
34-2	日本やわたしが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。	—	—
35	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用した。	92.6	92.9
36-1	自分はPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができると思う。	84.5	84.8
36-2	自分はインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思う。	91.2	90.9
36-3	自分はPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思う。	67.1	69.4
36-4	自分はPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思う。	79.9	80.0
37-1	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	—	—
37-2	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐに調べることができる。	—	—
37-3	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。	—	—

	質問項目	草津市	全国
37-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる。	—	—
37-5	ICT 機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	—	—
37-6	ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	—	—
37-7	ICT 機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる。	—	—
37-8	ICT 機器を活用することで、次の学習に取り組む際に、自分の学習の状況や成果を振り返ることができる。	—	—
37-9	ICT 機器やインターネットの活用について、利用に当たってのルールやマナーに関して学校で教えてもらっている。	—	—
37-10	ICT 機器やインターネットについて、ルールやマナーを守って活用することができる。	—	—
37-11	家庭学習で PC・タブレットなどの ICT 機器を週 1 回以上活用している。	—	—
38	1、2 年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。	64.6	65.5
39	1、2 年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	75.1	78.8
40	1、2 年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	66.5	70.8
41	1、2 年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。	74.0	78.9
42	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。	87.3	87.0
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	75.4	79.0
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。	75.6	78.0
45	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	81.9	85.2
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	91.3	92.4
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	79.8	80.8
48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできている。	78.5	81.7
49	学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	84.7	84.5
50	学級活動における学級での話し合いを生かし、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	75.0	77.8
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	90.8	91.3
52	国語の勉強は得意だ。	40.5	51.6
53	国語の勉強は好きだ。	48.1	57.2
54	国語の授業の内容はよく分かる。	70.4	76.8
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	88.2	88.2

	質問項目	草津市	全国
56	国語の授業で、先生は、わたしの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる。	67.3	73.0
57	国語の授業で、先生は、わたしの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる。	67.0	71.8
58	国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	80.8	84.8
59	国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	71.3	76.1
60	数学の勉強は得意だ。	52.6	48.5
61	数学の勉強は好きだ。	54.7	56.1
62	数学の授業の内容はよく分かる。	76.3	74.2
63	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	74.6	76.5
64	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている。	63.2	63.0
65	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。	77.5	77.8
66	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。	58.0	60.4
67	文字式を用いた説明の図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができる。	70.1	68.4
68-1	理科の勉強は得意だ。	—	—
68-2	理科の勉強は好きだ。	—	—
68-3	理科の授業の内容はよく分かる。	—	—
68-4	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	—	—
68-5	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい。	—	—
68-6	理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できている。	—	—
68-7	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている。	—	—
68-8	理科の授業では、観察や実験をよく行っている。	—	—
68-9	理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てている。	—	—
68-10	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っている。	—	—
69	英語の勉強は得意だ。	41.7	39.5
70	英語の勉強は好きだ。	52.1	51.2
71	英語の授業の内容はよく分かる。	68.2	64.2
72	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	87.0	87.6
73	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい。	33.8	34.1
74	キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力を含む）を使って英語を書くことができる。	79.6	76.7

	質問項目	草津市	全国
75	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)。	35.8	36.6
76	家庭学習の課題(宿題)として、週1回以上、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を読んだり英語を話す練習をしたりしている。	21.2	24.5
77-1	1、2年生のときの授業では、英語を <u>聞いて</u> (一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた。	—	—
77-2	1、2年生のときの授業では、英語を <u>読んで</u> (一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた。	—	—
77-3	1、2年生のときの授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた。	—	—
77-4	1、2年生のときの授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていた。	—	—
77-5	1、2年生のときの授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた。	—	—
78	1、2年生のときの授業では、聞いたり読んだりしたことによって、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた。	84.0	85.1
79	1、2年生のときの授業では、聞いたり読んだりしたことによって、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた。	82.8	82.8
80	1、2年生のときの授業では、キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書く活動を行った。	64.8	61.3

※「—」は、ランダム方式で実施した質問項目であり、結果が公表されていないことを示します。

4. 第4期草津市教育振興基本計画との関連

(1) 児童生徒質問紙調査結果から読み取れる成果と課題および考察

【成果】

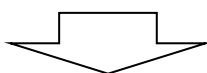
成果	調査結果のうち特徴的なもの	調査結果から考えられること
規範意識・自己有用感等	(1)「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した小学生は95.8%、中学生は95.6%と、いずれも95%を超える高い数値となりました。 (2)「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した小学生は97.5%、中学生は96.6%と、いずれも95%を超える高い数値となりました。 (3)「友達関係に満足している」「わたしの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した小学生は、全国平均を上回りました。	・児童生徒の多くが「人の役に立ちたい」という思いをもち、いじめを許さない意識を身に付けていることから、他者を尊重しながらよりよい人間関係を築こうとする態度が育まれていることがうかがえます。また、<u>学校における互いを認め合う人間関係づくりやいじめ防止の取組に加え、家庭や地域による見守りのもとで安心して生活できる環境が整っていることにより、児童生徒は友達との関係に満足し、自分の考えを表現しやすいと感じていると考えられます。このような他者との良好な関係性や安心感が、社会の一員として貢献しようとする意識や日常生活における幸福感の高さにつながっていると考えられます。【施策4・5】</u>
ICT機器活用	(4)「これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用した」と回答した小学生は、全国平均より2.9ポイント高い90.8%でした。 (5)「ICT機器で文章を作成できる」「インターネットを使って情報を収集することができる」「ICT機器で情報を整理することができる」「ICT機器を使って学校の発表のスライドを作成することができる」と回答した小学生は、全国平均を上回りました。	・本市では、<u>ICT機器の整備や教材開発、教員研修など、ICT教育の充実に向けた取組を継続的に進めてきました。その結果、授業におけるICT活用が定着するとともに、児童がICT機器を用いて文章を作成したり、情報を収集・整理したり、発表資料を作成したりする力の向上につながっていることがうかがえます。</u>これらのことから、本市のICT教育の推進が、児童の情報活用能力の育成に寄与していると考えられます。【施策11】
学習活動	(6)「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した小学生は91.2%、中学生は91.3%と、いずれも90%を超える高い数値となりました。	・友達の考えを大切にしながら協力して学ぶ姿が小中学校で広く見られるようになってきたことは、授業改善や学級づくりの取組の成果と考えられます。<u>話し合い活動や協働的な学習場面が日常的に行われていることで、児童生徒が安心して意見を交流し、互いに支え合いながら学びを深める環境が整ってきたことがうかがえます。【施策3】</u>
総合・学級活動・道徳	(7)「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した中学生は79.8%となり、平成26年度以降最も高い数値となりました。 (8)「学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した小学生は82.9%、中学生は84.7%と、いずれも全国平均を上回りました。	・本市では、「スクールESDくさつプロジェクト」や「こどもまんなかの学校づくり」の推進を通して、児童生徒が主体的に課題を見だし、対話を重ねながら解決に向かう学習活動の充実を図ってきました。その結果、<u>総合的な学習の時間における探究的な学習活動の質が向上するとともに、学級会などにおいて互いの意見のよさを認め合いながら協働して課題を解決する姿勢が育まれていることがうかがえます。</u>【施策1】【施策3】
教科指導	(9)「授業の内容がよく分かる」と回答した小学生は国語科82.8%・算数科79.8%、中学生は数学科76.3%・英語68.2%で全国平均を上回りました。	・本市では「New草津型アクティブ・ラーニング」を推進し、<u>協働的な学びと個別最適な学びを一体的に進める授業改善を行い、主体的で対話的で深い学びを意識した指導法の導入や児童生徒の理解度を高める工夫が行われていることが、授業内容の理解度向上につながったと考えられます。</u>【施策11】

【課題】

課題	調査結果のうち特徴的なもの	調査結果から考えられること
自己規範意識等	(1)「自分にはよいところがあると思う」と回答した小学生は82.2%、中学生は80.1%と、いずれも全国平均を下回りました。	・自己肯定感の形成には、学校や家庭、地域の中で自分のよさや頑張りを認められる経験が大切であると考えます。 <u>児童生徒が達成感や自己有用感を実感できる主体的な活動を充実させるとともに、学校・家庭・地域が連携して児童生徒のよさを認め、伸ばす取組を進めていくことが重要であると考えます。【施策1】</u>
学習家庭環境生活	(2)「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上、読書をしている」と回答した中学生は、全国平均より1.1ポイント低い6.8%でした。 (3)「昼休みや放課後に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室に週1～3回以上行く」と回答した小中学生の割合が全国平均を下回りました。	・読書は、豊かな感性や思考力、表現力を育む上で重要な活動であることから、児童生徒が日常的に読書に親しむ習慣を身に付けることが求められます。そのためには、 <u>学校図書館の活用を一層推進するとともに、学校司書や図書ボランティア等との連携を図りながら、児童生徒が本に親しみ、進んで利用したくなる環境づくりを充実させることが重要であると考えます。今後も読書活動の充実を通して、読書習慣の形成を推進していきます。【施策6】</u>
学習活動	(4)「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した小中学生の割合は、全国平均を下回りました。	・主体的に課題へ取り組む力が全国平均を下回ったことは、児童生徒が自分の考えをもって学習に向かうための指導が十分に機能していない可能性を示しています。話し合い活動や協力する場面は充実しているものの、その前提となる「 <u>自分の考えをつくる力</u> 」や「 <u>自ら学習を進める力</u> 」の育成が課題であり、 <u>今後は主体性を高める授業改善が必要であると考えます。【施策10】</u>
総合・道徳活動	(5)「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した小学生は85.1%、中学生は90.8%と高い水準ではあるものの、全国平均を下回りました。	・児童生徒が道徳の授業で話し合い活動に取り組む姿は定着してきていますが、全国平均を下回ったことから授業の質をさらに高める必要があると考えます。本市では「 <u>考え議論する道徳</u> 」を推進し、教員研修や授業改善を進めてきました。今後は、 <u>より深い思考を促す発問や対話の広がりを生む授業構成の工夫を重ね、道徳科の学びを充実させていきます。【施策10】</u>
教科指導	(6)国語・算数（数学）の平均正答率は、小中学校ともに全国平均を上回っていますが、質問紙調査において「教科の勉強が好き」と回答した児童生徒が全国平均を下回りました。 (7)中学生は、国語科に対する「勉強は得意」「勉強は好き」「授業は分かる」と回答した生徒は、全国平均を下回りました。	・学習内容の理解は一定進んでいるものの、学習そのものの興味や楽しさ、さらには「分かる」「できる」という実感の醸成に課題があることがうかがえます。 <u>特に国語科においては、自分の考えを表現したり相手の考えを理解したりする言語活動を充実させるとともに、一人ひとりが学習の成果を実感できる評価の工夫が求められます。今後は、児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じながら主体的に学習に取り組めるよう、学習意欲の向上につながる授業改善を一層推進していく必要があると考えます。【施策10】</u>

赤下線を付した項目は、第4期草津市教育振興基本計画における各施策との関連を示しています。成果として表れている項目については継続的な推進により一層の充実を図り、課題として表れている項目については施策を通じた改善を進めていきます。

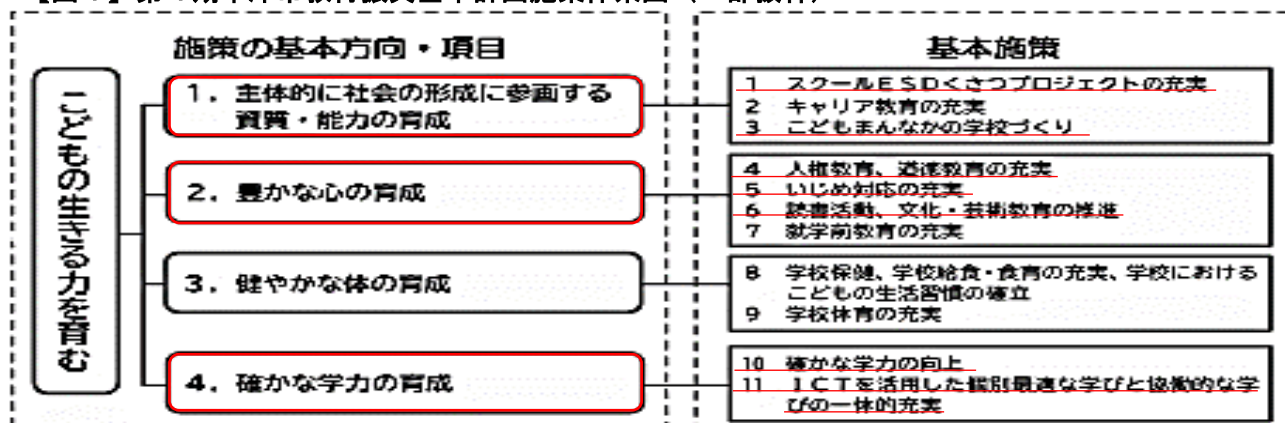
これらを整理すると、こどもが自ら学びに向かう力（主体性）と、考えを表現し伝え合う力（言語活動）の2点が、課題の改善だけでなく成果をさらに高めるうえで重要であると分析しました。そのため、本市では「主体性の育成」と「言語活動の充実」を重点的に取り組む視点として位置づけ、次頁で示す第4期草津市教育振興基本計画の6つの基本施策（施策1、3、4・5、6、10、11）を通して、主体性と言語活動の両面を計画的に充実させていきます。



【今後の手立て・方向性】「主体性の育成」「言語活動の充実」

(2) 第4期草津市教育振興基本計画（令和7年度から令和11年度）の施策との関連

【図1】第4期草津市教育振興基本計画施策体系図（一部抜粋）



目標1：主体的に社会の形成に参画する資質・能力の育成

(%)

	施策評価の基準となる質問項目		R7	R8	R9	R10	R11
施策1	スクールESD くさつプロジェクトの充実 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。」の肯定回答率	小	83.3 (82.3)	81.4 (79.9)			
		中	77.8 (79.5)	79.8 (80.8)			
施策3	こどもまんなかの学校づくり 「学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。」の肯定回答率	小	84.7 (83.3)	82.9 (81.5)			
		中	81.9 (84.3)	84.7 (84.5)			

目標2：豊かな心の育成

(%)

	施策評価の基準となる質問項目		R7	R8	R9	R10	R11
施策4・5	人権教育・道徳教育の充実、いじめ対応の充実 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」の肯定回答率	小	98.1 (97.2)	97.5 (96.2)			
		中	95.9 (95.9)	96.6 (95.1)			
施策6	読書活動、文化・芸術教育の推進 「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上、読書をしている。(電子書籍の読書を含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」の肯定回答率	小	17.5 (15.2)	13.8 (11.9)			
		中	8.0 (9.6)	6.8 (7.9)			

目標4：確かな学力の育成

(%)

	施策評価の基準となる質問項目		R7	R8	R9	R10	R11
施策10	確かな学力の向上 「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた。」の肯定回答率	小	80.0 (80.3)	75.8 (77.6)			
		中	75.1 (77.7)	75.1 (78.8)			
施策11	ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 「前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用した。」の肯定回答率	小	90.4 (89.7)	90.8 (87.9)			
		中	94.3 (92.2)	92.6 (92.9)			

※こどもの日頃の生活や学習習慣に関する質問項目のうち、施策評価の基準となる質問について、一覧表にしました。

なお、肯定回答率とは、質問に対して「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答したこどもたちの割合を示しており、草津市（上段）、全国（下段）の数値を、%で表示しています。

(3) 調査結果を受けての今後の手立て (※施策番号は第4期計画に準じています。)

調査結果より「主体性の育成」「言語活動の充実」に重点を置き、こどもの生きる力を育みます。
(◎は、特に強化を図る手立てを示しています。)

【施策1】「スクールESDくさつプロジェクト」の充実 **主体性** **言語活動**

- ・ESDマネジメントリーダーを中心に、主体的な課題探究と対話的な学びを推進
- ・各校に1人以上のESDに精通した「ESDティーチャー」認定
- ・全児童生徒約1万人が参加する「ESDフェスタ」を開催し、学びや考えを発信・交流する機会を確保

【施策3】「こどもまんなかの学校づくり」 **主体性**

- ・児童会、生徒会活動、こどもサミットにおける主体的な企画・運営の推進
- ・教職員研修や取組への助成による「こどもまんなか」の学校づくりの推進
- ・授業における対話や話し合い活動を通じた意見表明機会の充実

【施策4・5】人権教育・道徳教育の充実、いじめ対応の充実 **主体性**

- ・児童生徒主体のいじめ防止活動の推進
- ・学校問題解決支援チームによる組織的対応の強化
- ・ICTを活用した心の健康観察の充実

【施策6】読書活動、文化・芸術教育の推進 **言語活動**

◎学校図書館の授業活用を推進

- ・学校司書と連携した読書支援、授業支援の充実
- ・児童生徒が自ら本を選び、学びを広げる読書環境の充実
- ・読書を基盤とした対話的な学習活動の推進
- ・図書ボランティアと連携した読書活動の推進
- ・学校図書館資料を活用した課題探究と発表活動の充実

【施策10】確かな学力の向上 **主体性** **言語活動**

◎「我が校の学力向上策」の見直しと実践の充実

◎言語活動を核とした学習活動の充実

◎探究的な学習を通じた主体的な学びの充実

- ・調査結果の分析に基づく授業改善の推進
- ・ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・学校経営と学力向上を一体的に進める取組の充実

【施策11】ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 **主体性** **言語活動**

- ・全国学力・学習状況調査の分析に基づく指導改善の推進
- ・ICTスキルアップアドバイザーやICT支援員による支援の充実
- ・「New 草津型アクティブ・ラーニング」の実践の充実



5. 調査問題の分析

【小学校 国語】

(1) 出題の趣旨

昨年度の問題数から小問が1問減り、3つの大問と13の小問が出題されました。

大問1では「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えるとともに、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力」が問われました。

大問2では「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えるとともに、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力」が問われました。

大問3では「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力」が問われました。

読んで考えたことを、自分の経験や既存の知識と結び付けて
まとめ、記述する力が問われたよ。



(2) 結果

①成果

- ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を評価する問題の平均正答率が全国平均を上回る結果でした。
- ・問題形式ごとの正答率では、「選択式」「短答式」「記述式」全てにおいて、平均正答率が全国平均を上回りました。

②課題

- ・昨年度は全ての問題において無回答率が全国平均以下だったのに対し、今年度は13問11問が全国平均以下でした。
- ・「資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうか」をみる問題では、選択式の問題の中で、正答率が全国平均よりも低く、無回答率が全国平均よりも高いものがありました。「読む目的」を明確にして読み進め、必要な情報を見付けて整理したうえで、自分の考えをまとめる言語活動が必要であると考えられます。

【中学校 国語】

(1) 出題の趣旨

昨年度の問題数から小問が1問増え、4つの大問と15の小問が出題されました。

大問1では「助動詞の働き、単語の類別、単語の活用についての理解」について問われました。

大問2では「①目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。②必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること。③情報と情報との関係の様々な表し方を理解し、使うこと。④互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。」について問われました。

大問3では「①文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。②表現の効果を考えて描写すること。③段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること。④表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見出すこと。」について問われました。

大問4では「①文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えること。②語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。③目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること。④文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。」について問われました。

学校生活や日常生活に関わる具体的な場面を設定し、その中で文章の構造を比較することや文章に使われている表現の効果などについて問われたよ。



(2) 結果

①成果

- ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を評価する問題の平均正答率が全国平均を上回る結果でした。
- ・問題形式ごとの正答率では、「選択式」「短答式」「記述式」全てにおいて、平均正答率が全国平均を上回りました。

②課題

- ・記述式の問題において、3問中全ての問題の無回答率が全国平均を上回りました。生徒が試行錯誤しながら文章の構造を捉えたり、条件に応じて記述したりするような「書く」活動を設定する中で、自分の考えが相手に伝わる文章になるように、目的や意図に応じてどのような表現の工夫をし、それがどのような効果があったかなどについて検討したり、読み手の立場に立って自分の書いたものを再考したりするなどの言語活動が必要であると考えられます。

【小学校 算数】

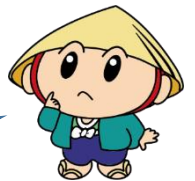
(1) 出題の趣旨

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の5つの領域から出題され、4つの大問と16の小問から構成されていました。

「図形」では、立体図形について、図形を構成する要素に着目し、図形の計量や図形の構成の仕方を考察できるかどうかを見る問題が出題されました。

「データの活用」では、日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフを読み取り、見出したことを表現することができるかどうかを見る問題が出題されました。

言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりする問題が出題されたよ。



(2) 結果

①成果

- ・算数科の平均正答率は全国平均を1.6ポイント上回る結果でした。領域別では、「数と計算」で2.1ポイント、「図形」で2.1ポイント、「測定」で3.8ポイント、「変化と関係」で2.5ポイント、「データの活用」で0.3ポイント全国平均を上回りました。特に、「測定」では、時間を求めるために必要な情報を整理し、数量の関係を基に適切に判断する力が身に付いていることがうかがえます。
- ・評価の観点では、「知識・技能」が全国平均を2.2ポイント、「思考・判断・表現」が0.1ポイント上回る結果となりました。
- ・問題形式別では、選択式・短答式・記述式の全てで全国平均を上回り、記述式においても自分の考えを表現する力が身につけていることがうかがえました。
- ・16問中13問で無回答率が全国平均を下回り、最後まで粘り強く問題に取り組む児童が多いことがうかがえました。

②課題

- ・設問¹(1)の正答率は草津市69.4%で、全国平均(72.7%)を3.3ポイント下回りました。立方体の体積の計算による求め方について理解することに課題が見られました。立方体や直方体の体積の求め方について理解を深めるとともに、図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身につけられるよう、具体物や図を用いた数学的活動を充実させていく必要があります。
- ・「データの活用」の領域では全国平均を上回ったものの、その差は0.3ポイントでした。日常生活の問題を解決するために、目的に応じて表やグラフを読み取り、見出したことに根拠をもって表現する力に課題があります。特に、二次元の表から条件に合う数を読み取ることに課題が見られました。データを二つの観点から分類整理した表を適切に読み取り、必要な情報を基に判断する力を育成していくことが必要です。

【中学校 数学】

(1) 出題の趣旨

大問1から5では、正の数・負の数、同類項、平行線になるための条件、反比例、確率を題材として、基礎的・基本的な知識や技能の定着状況をみる問題が出題されました。数量や図形の性質、関数関係、不確定な事象を数学的に捉え、適切に処理する力や、既習事項を活用して問題を解決する力が求められました。

問題の後半では、数の性質について予想が成り立つ理由を説明したり、条件を変えた場合に成り立つ事柄を見いだしたりする問題が出題されました。また、日常的な事象を関数関係として捉えて問題解決の方法を説明する問題や、作図を基に証明に必要な条件を考察する問題、表やグラフからデータの傾向を読み取り根拠を示して説明する問題が出題されました。

全体として、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」を一体的に活用しながら、問題解決の過程や結果を振り返り、統合的・発展的に考察する資質・能力が求められていました。

条件を変えたときに成り立つ事柄を見いだして考察する問題や、関数関係に着目して問題解決の方法を説明する問題、データの傾向を、根拠を基に考察する問題が出題されたよ。



(2) 結果

①成果

- ・数学科の平均正答率は 61.0%で、全国平均を 4 ポイント上回り、4 領域すべてについても全国平均を上回る結果でした。特に「図形」については 7.8 ポイント、「関数」については 4.8 ポイント上回る結果でした。
- ・第1四分位・第3四分位ともに全国を上回っており、幅広い学力層で基礎・基本の定着が見られました。
- ・「短答式」の問題の正答率が全国平均を 5.1 ポイント、「記述式」の問題の正答率が全国平均を 5.2 ポイント、それぞれ上回る結果でした。

②課題

- ・記述式問題の正答率は全国平均を上回りましたが、問題による差が大きく、グラフを基に問題解決の方法を説明する問題では 37.4%、データの傾向をもとに根拠を挙げて説明する問題では 32.3%にとどまりました。
- ・また、これらの問題では無解答率も 30%を超えており、自分の考えを数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られました。複数の情報を関連付けて考察し、その根拠を筋道立てて記述する学習の充実を図る必要があります。

【中学校 英語】

(1) 出題の趣旨

19の大問が出題されました。大問1から大問5では「聞くこと」について、大問6から大問14では「読むこと・書くこと」について、大問15から大問19については「話すこと」について出題されました。「聞くこと」においては、日常的な話題について、自分が置かれた状況などを判断し、必要な情報を聞き取る問題が出題されました。「読むこと・書くこと」では、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くような問題が出題されました。「話すこと」では、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持などを整理し、まとまりのある文章を話すことができるかをみる問題が出題されました。

(2) 結果

①成果

- ・ほとんどの問題において、正答率が全国よりも上回る結果でした。
- ・「聞くこと」については、平均正答数が全国平均を0.1ポイント上回る結果でした。
- ・「読むこと・聞くこと」については、平均正答数が全国平均を0.3ポイント上回る結果でした。
- ・I R Tスコアにおいて、全国よりも22ポイント上回る結果でした。

②課題

- ・日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取る問題において、全国よりも2ポイント下回った。自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるかを判断することに課題があります。
- ・社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題において、正答率が30ポイント弱と低い結果となった。社会的な話題については、文章の内容を正確に読み取り、自分の考えを根拠とともに論理的にまとめる力を育成する必要があります。

今年度の調査では、1人1台端末を活用して、すべての領域の問題をCBTで実施しているよ。
また、すべての領域の問題において、イラストやカラーで示すことで場面や状況が明確になるようにしているよ。

